

令和 5 年度事業報告書 <白楽荘・介護課>

テーマ：福祉・医療・介護の地域共生社会の中で、安全で安心な魅力ある法人サービスを目指す

サブテーマ：入所者や家族と信頼関係を築き、安心して生活ができるよう支援する

1. 入所者が安心して生活が送れるようサービスの提供をおこなう

- ① コロナ禍の中、感染を持ち込まないよう努めたが、1月に雄島チーム入所者にコロナ感染が広がり、1名入院となる。入浴制限や居室対応、面会中止等、ゾーン分けを徹底。入所者・家族に、ご協力の案内をする。毎日感染委員会を行い LINE での情報共有より、職員の連携強化、感染対策の継続、家族に連絡を早めに行うことで、苦情に至らず収束に繋がった。
- ② 感染、防災の事業計画（BCP）は、職員に周知し実施訓練を行った。1月の能登沖地震では、建物の被害はなかったが、不安を訴える利用者への対応を行う。津波警報より要援護者と家族が白楽荘へ避難してくる近隣住民の受け入れを行い、福祉避難所として入所者の安全を守る為に、取り組みを継続対応する。又、激甚災害地の能登町より、1名を入所者として迎え入れた。
- ③ 毎月虐待芽摘みチェックシートの記入を行い、自身のケアを振り返り提出。上司の確認により不適切ケアを未然に防ぐことが出来た。些細なことから同じ目線で声掛け、入所者ファーストで取り組みました。

2. 職員のモチベーションを高め、働きやすい環境を作る

- ① 県老協の研究会参加をはじめ、10月から技能実習生2期生(2名)の受け入れ、認知症リーダー研修修了者1名、認知症基礎研修修了者4名、介護福祉士取得1名、他にも様々な外部研修に参加し、職員の資質向上を図ることが出来た。また、毎月行われる施設内研修を積極的に呼び掛けた結果、参加率が上がり、必要な知識やスキルを身に着けることができた。

- ② 全職員に面談をおこない、現状を確認した。育休明けの職員との面談より、デイサービスへの移動等働きやすいように効果的な人事異動は、産休、育休等の休業制度の活用となり、安心して職場復帰できる等、離職を未然に防ぐことが出来た。有給休暇も各チーム計画的に取得し、希望に応じて連休を取る等、職員のリフレッシュに繋げることができた。